

## 令和5年度 札幌市交通事業 予算の概要

## 軌道整備事業会計

1	予算総括表	1 頁
2	(参考) 予算総括表 (上下合算)	2 頁
3	(参考) 業務量	3 頁
4	主要事業	4, 5 頁
5	過去5年間の傾向	6 頁

## 高速電車事業会計

1	予算総括表	7 頁
2	業務量	8 頁
3	主要事業	9, 10 頁
4	過去5年間の傾向	11 頁

1 予算総括表 (税込)

(軌道整備事業会計)

(単位：千円)

区分	収 入			支 出			収 支 差 引					
	項 目	5年度予算(A)	4年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	5年度予算(C)	4年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	5年度予算(A)-(C)=(E)	4年度予算(B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)	
当 年 度 収 支 入 及 び 支 出	経 常 収 入	営 業 収 益	637,000	756,000	△ 119,000	営 業 費 用	1,623,000	1,641,000	△ 18,000	△ 986,000	△ 885,000	△ 101,000
		施 設 使 用 料 収 入	622,000	744,000	△ 122,000	人 件 費	176,000	198,000	△ 22,000			
		そ の 他	15,000	12,000	3,000	経 費	573,000	586,000	△ 13,000			
						減 価 償 却 費	874,000	857,000	17,000			
	営 業 外 収 益	764,000	793,000	△ 29,000	営 業 外 費 用	24,000	20,000	4,000	740,000	773,000	△ 33,000	
					予 備 費	5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000	0	
	小 計	1,401,000	1,549,000	△ 148,000	小 計	1,652,000	1,666,000	△ 14,000	△ 251,000	△ 117,000	△ 134,000	
	特 別 利 益	0	0	0	特 別 損 失	0	0	0	0	0	0	
計	① 1,401,000	1,549,000	△ 148,000	計	② 1,652,000	1,666,000	△ 14,000	△ ③ 251,000	△ 117,000	△ 134,000		
資 本 的 収 支	企 業 債	652,000	1,101,605	△ 449,605	建 設 改 良 費	1,521,000	2,353,405	△ 832,405	収支差引(税抜) = 当年度純損失 ↓ ④ △ 308,000      △ 211,000      △ 97,000			
	国 庫 補 助 金	0	24,000	△ 24,000	企 業 債 償 還 金	215,000	218,000	△ 3,000				
	他 会 計 補 助 金	0	17,000	△ 17,000	予 備 費	10,000	10,000	0				
	負 担 金	866,000	1,176,000	△ 310,000								
計	⑤ 1,518,000	2,318,605	△ 800,605	計	⑥ 1,746,000	2,581,405	△ 835,405	△ ⑦ 228,000	△ 262,800	34,800		
当年度分損益勘定留保資金等	289,000	244,441	44,559					289,000	244,441	44,559		
合 計	3,208,000	4,112,046	△ 904,046	合 計	3,398,000	4,247,405	△ 849,405	△ 190,000	△ 135,359	△ 54,641		
過年度分内部留保資金	△ 161,640	△ 26,281	△ 135,359					△ 161,640	△ 26,281	△ 135,359		
総 計	⑧ 3,046,360	4,085,765	△ 1,039,405	総 計	⑧ 3,398,000	4,247,405	△ 849,405	△ 351,640	△ 161,640	△ 190,000		
(参考)一般会計からの長期借入金残高	815,000	615,000	200,000					815,000	615,000	200,000		
再 計	⑧ 3,861,360	4,700,765	△ 839,405	再 計	⑧ 3,398,000	4,247,405	△ 849,405	⑧ 463,360	453,360	10,000		

※ 4年度予算は現計予算である。  
 ※ 5年度予算の一般会計からの長期借入額(新規分)は、新型コロナウイルス感染症による軌道運送事業の減収に伴う施設使用料収入の減免額204,000千円(税抜)から、4年度の借入超過見込額4,000千円を減じた200,000千円である。  
 なお、4年度予算の長期借入額(新規分)は0であり、これは、4年度の減免見込額187,000千円に対し、3年度の借入が191,000千円超過しているためである。  
 ※ 5年度予算の一般会計からの長期借入金残高は、3年度の長期借入額615,000千円に5年度予算の長期借入額(新規分)200,000千円を加えたものである。  
 ※ 5年度予算の当年度分損益勘定留保資金等は減価償却費874,000千円と固定資産除却費47,000千円、長期前受金戻入△638,000千円、引当金計上及び取崩額等の資金調整額6,000千円を加えたものである。

2 (参考) 予算総括表 (上下合算)

㊦ 軌道整備事業

※交通局予算

㊧ 軌道運送事業

※(一財)札幌市交通事業振興公社予算

㊨ 軌道運送事業 + ㊦ 軌道整備事業

(単位：千円)

項目		5年度 予算	
經常 収入	施設使用料収入(※)	622,000	
	その他	15,000	
	計	637,000	
	經常 支出	人件費	176,000
		経費	573,000
		維持管理費等	490,722
		その他	82,278
	減価償却費	874,000	
	計	1,623,000	
	営業外 収入	収入	764,000
支出		24,000	
予備費	5,000		
差引	△ 251,000		
特別利益	0		
特別損失	0		
収益的収支差引	△ 251,000		
資本的 収入	企業債	652,000	
	負担金	866,000	
	計	1,518,000	
	資本的 支出	建設改良費	1,521,000
企業債償還金		215,000	
予備費		10,000	
計	1,746,000		
資本的収支差引	△ 228,000		
当年度分損益勘定留保資金等	289,000		
過年度分内部留保資金	△ 161,640		
合計	△ 351,640		
(参考)一般会計からの長期借入金 残高	815,000		
総計	463,360		

(単位：千円)

項目		5年度 予算
經常 収入	乗車料収入	1,357,000
	広告料収入	55,178
	計	1,412,178
經常 支出	人件費	545,714
	経費	677,308
	施設使用料(※)	622,000
計	1,845,022	
営業外 収入	維持管理費等	490,722
	その他	20,138
計	510,860	
営業外 支出	収入	52,437
	支出	52,437
予備費	0	
差引	25,579	
管理費	0	
収益配賦分	36,715	
費用配賦分	36,715	
差引	△ 36,715	
諸税	0	
収益的収支差引	△ 11,136	
過年度分内部留保資金	△ 157,877	
合計	△ 169,013	

(単位：千円)

項目		4年度 現計予算(A)	5年度 当初予算(B)	差引増減 (B)-(A)	
經常 収入	乗車料収入	1,364,000	1,357,000	△ 7,000	
	広告料収入	51,117	55,178	4,061	
	その他	12,000	15,000	3,000	
	計	1,427,117	1,427,178	61	
	經常 支出	人件費	721,921	721,714	△ 207
		経費	756,216	759,586	3,370
		減価償却費	857,000	874,000	17,000
		計	2,335,137	2,355,300	20,163
	営業外 収入	収入	803,461	784,138	△ 19,323
		支出	64,114	76,437	12,323
予備費	5,000	5,000	0		
特別利益	0	0	0		
特別損失	0	0	0		
管理費	25	0	△ 25		
収益配賦分	33,935	36,715	2,780		
費用配賦分	33,935	36,715	2,780		
諸税	0	0	0		
収益的収入	2,230,603	① 2,211,316	△ 19,287		
収益的支出	2,438,186	② 2,473,452	35,266		
収益的収支差引	△ 207,583	③ △ 262,136	△ 54,553		
資本的 収入	企業債	1,101,605	652,000	△ 449,605	
	国庫補助金	24,000	0	△ 24,000	
	他会計補助金	17,000	0	△ 17,000	
	負担金	1,176,000	866,000	△ 310,000	
計	2,318,605	1,518,000	△ 800,605		
資本的 支出	建設改良費	2,353,405	1,521,000	△ 832,405	
	企業債償還金	218,000	215,000	△ 3,000	
	予備費	10,000	10,000	0	
	計	2,581,405	1,746,000	△ 835,405	
資本的収支差引	△ 262,800	△ 228,000	34,800		
当年度分損益勘定留保資金等	244,441	289,000	44,559		
過年度分内部留保資金	△ 93,575	△ 319,517	△ 225,942		
合計	△ 319,517	△ 520,653	△ 201,136		
(参考)一般会計からの長期借入金 残高	615,000	815,000	200,000		
総計	295,483	④ 294,347	△ 1,136		

※施設使用料と維持管理費は、相殺している。  
※4年度予算は現計予算である。

### 3 (参考) 業務量

### 路面電車

(軌道整備事業会計)

区 分		4 年 度 予 算 A	5 年 度 予 算 B	比 較	
				増 減 $\Delta$ B - A = C	増 減 率 (%) C / A
営 業 キ ロ 数		km 8.9	km 8.9	km 0.0	0.0
車 両 数		両 36	両 36	両 0	0.0
走 行 キ ロ 数		千km 902	千km 899	千km $\Delta$ 3	$\Delta$ 0.3
輸 送 人 員	年 間 (路面電車無料デーを除く)	人 7,976,000 (7,697,000)	人 7,828,000	人 $\Delta$ 148,000 (131,000)	$\Delta$ 1.9 (1.7)
	一 日 平 均 (路面電車無料デーを除く)	人 21,853 (21,088)	人 21,389	人 $\Delta$ 464 (301)	$\Delta$ 2.1 (1.4)
乗 車 料 (路面電車無料デーを除く)		千円 1,364,000 (1,311,000)	千円 1,357,000	千円 $\Delta$ 7,000 (46,000)	$\Delta$ 0.5 (3.5)

(※) 「路面電車無料デーを除く」とは、路面電車無料デー該当日を通常の日と同程度の乗車料収入があったとの仮定に基づく推計である。

# 4 主要事業

## 路面電車

(軌道整備事業会計)

(単位：千円)

項 目	5年度 予 算 (A)	4年度(※ <sup>1</sup> ) 予 算 (B)	差 引 (A) - (B)	事 業 の 主 な 内 容
建設改良事業 ( ※ <sup>2</sup> )	1,521,000 (1,528,000)	2,353,405 (2,346,405)	△ 832,405 (△818,405)	<b>&lt;車両基地改良・電力設備増強関連事業&gt; R5年：1,000百万円</b>  ○電車事業所改良建築工事・・・・・・・・R5年：745百万円 ○新山鼻変電所受変電設備更新工事・・R5年：250百万円 ○業務用無線更新・・・・・・・・R5年： 5百万円
企業債 ( ※ <sup>2</sup> )	652,000 (658,000)	1,101,605 (1,095,605)	△ 449,605 (△437,605)	
同 上 財 源 内 訳				<b>&lt;車両関係&gt; R5年：136百万円 (R5年1定補正からの繰越：7百万円)</b>  ○低床車両製造・・・・・・・・R5年：101百万円 ○砂まき装置改修・・・・・・・・R5年： 14百万円 ○路面電車8500形車両主電動機及び駆動装置・・・・R5年： 19百万円 ○車両整備用器具備品購入・・・・・・・・R5年： 2百万円 ○3300形行先表示器改修・・・・・・・・R5年： 0円 (R5年1定補正からの繰越：7百万円)
国 庫 金 ( ※ <sup>2</sup> )	0 (1,000)	24,000 (23,000)	△ 24,000 (△22,000)	
一 般 会 計 補 助 金	0	17,000	△ 17,000	
負 担 金	866,000	1,176,000	△ 310,000	<b>&lt;軌道更新・街路拡幅関連事業等&gt; R5年：385百万円</b>  ○軌道更新事業・・・・・・・・R5年： 98百万円 ○街路拡幅に伴う電気設備工事・・・・R5年： 33百万円 ○街路拡幅に伴う軌道改良・・・・R5年：209百万円 ○その他・・・・・・・・R5年： 45百万円
そ の 他	3,000	34,800	△ 31,800	

(※1) 4年度予算は、R5年1定補正7百万円を含む(国の補正予算に伴う)

(※2) R5年1定補正予算からの繰越額を含めた金額

# 軌道整備事業会計

## 4 主要事業 (イメージ図)

路面電車

### 【電車事業所改良建築工事】

#### 【改修内容】

車庫の拡張、耐震化のため、車庫・工場棟の建て替えを行うとともに、事務所棟も合築し  
一体整備する。

#### 【令和5年度の主な実施内容】

- 工場・事務所棟新築
- 軌道及びピット(車両点検場所)の整備



### 【新山鼻変電所受変電設備更新工事】

#### 【更新内容】

ループ化及び低床車両導入等に伴い、不足する電源を確保するために、  
新山鼻変電所の移設及び設備更新等を行う。(R5年7月より供用開始予定)

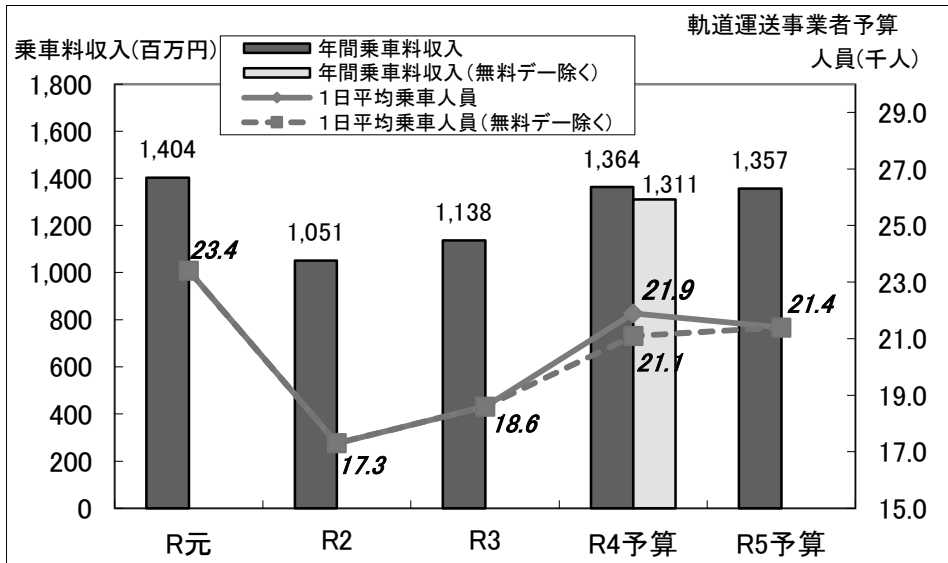
#### 【令和5年度の主な実施内容】

- 新設設備への切替試験
- 既設変電所の機器撤去

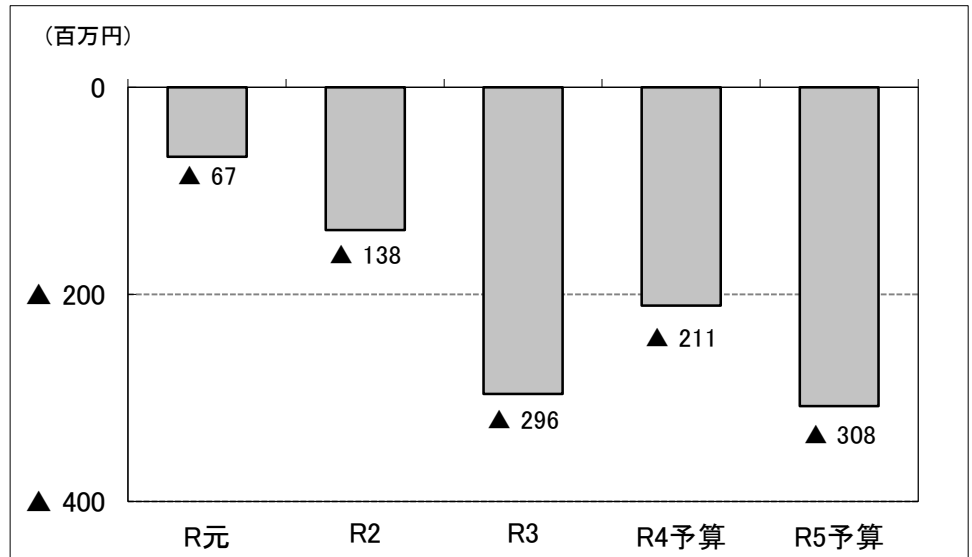


## 5 過去5年間の傾向

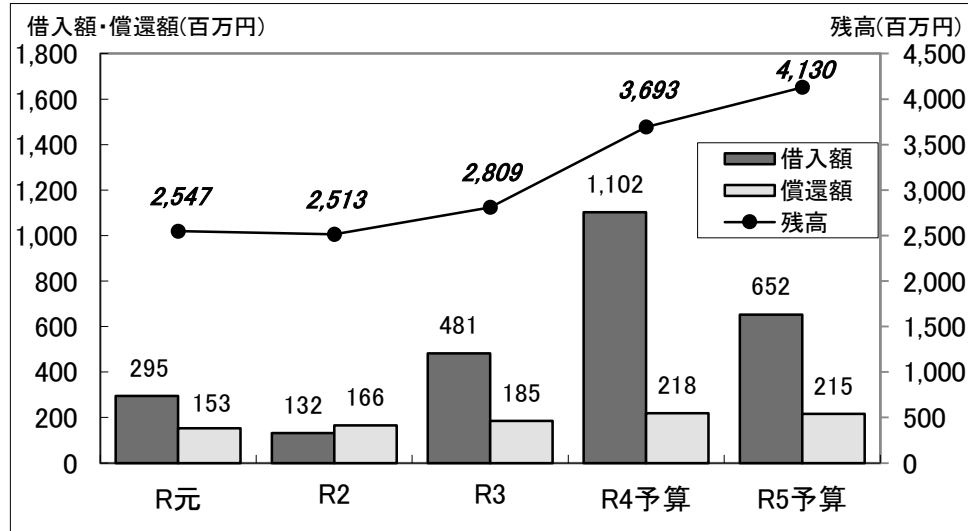
(1) (参考) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



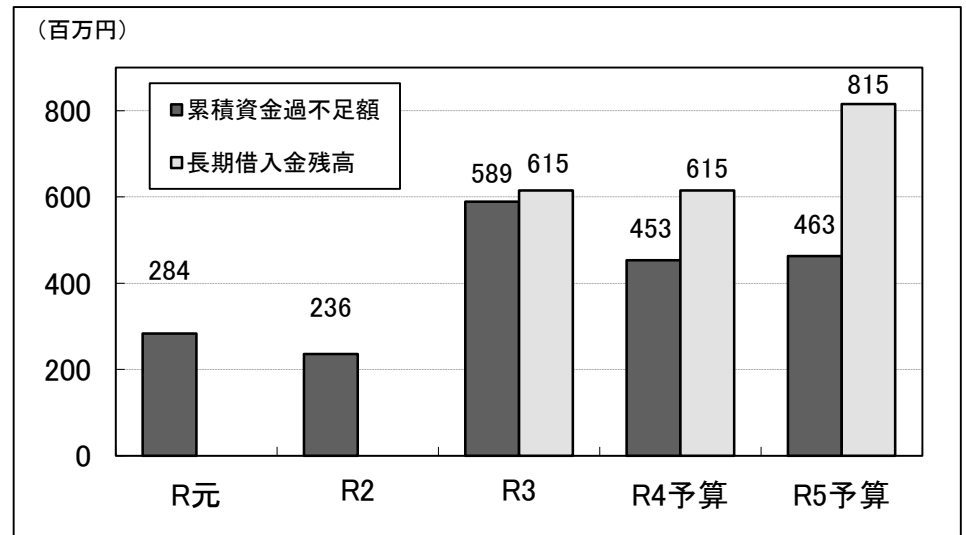
(2) 経常収支(税抜)



(3) 企業債(借入額・償還額・残高)



(4) 資金の状況



- ※ 4年度予算は現計予算である。
- ※ 表中の数字は、各係数ごとの四捨五入で表示している。
- ※ 「無料デーを除く」とは、路面電車無料デー該当日を通常の日と同程度の乗車料収入があったとの仮定に基づく推計である。

# 1 予算総括表 (税込)

(高速電車事業会計)

地下鉄

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引		
	項 目	5年度予算(A)	4年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	5年度予算(C)	4年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	5年度予算(A)-(C)=(E)	4年度予算(B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)
当年度収入及び支出	営業収益	42,228,000	40,128,000	2,100,000	営業費用	38,551,000	37,915,792	635,208	3,677,000	2,212,208	1,464,792
	乗車料収入	39,377,000	37,382,000	1,995,000	人件費	4,747,000	5,032,000	△ 285,000			
	広告料収入	1,096,000	1,082,000	14,000	経費	19,032,000	18,001,792	1,030,208			
	その他	1,755,000	1,664,000	91,000	減価償却費	14,772,000	14,882,000	△ 110,000			
	営業外収益	6,872,000	5,726,000	1,146,000	営業外費用	4,025,000	3,603,000	422,000	2,847,000	2,123,000	724,000
					予備費	40,000	40,000	0	△ 40,000	△ 40,000	0
	小計	49,100,000	45,854,000	3,246,000	小計	42,616,000	41,558,792	1,057,208	6,484,000	4,295,208	2,188,792
	特別利益	0	0	0	特別損失	279,000	193,000	86,000	△ 279,000	△ 193,000	△ 86,000
	計	① 49,100,000	45,854,000	3,246,000	計	② 42,895,000	41,751,792	1,143,208	③ 6,205,000	4,102,208	2,102,792
資本的収入及び支出	企業債	10,680,000	15,431,000	△ 4,751,000	建設改良費	12,252,000	18,293,306	△ 6,041,306	収支差引(税抜) = 当年度純利益		
	うち特別減収 対策企業債	217,000	1,841,000	△ 1,624,000	企業債償還金	18,626,000	18,817,000	△ 191,000			
	資金	1,295,000	2,021,000	△ 726,000	予備費	20,000	20,000	0			
	国庫補助金	114,944	703,500	△ 588,556							
	他会計補助金	644,556	1,145,000	△ 500,444							
	投資	2,500	2,500	0							
計	⑤ 12,737,000	19,303,000	△ 6,566,000	計	⑥ 30,898,000	37,130,306	△ 6,232,306	⑦ 18,161,000	△ 17,827,306	△ 333,694	
当年度分損益勘定 留保資金等	11,956,000	11,616,096	339,904					11,956,000	11,616,096	339,904	
合計	73,793,000	76,773,096	△ 2,980,096	合計	73,793,000	78,882,098	△ 5,089,098	0	△ 2,109,002	2,109,002	
過年度分内部留保資金	0	2,109,002	△ 2,109,002					0	2,109,002	△ 2,109,002	
総計	73,793,000	78,882,098	△ 5,089,098	総計	73,793,000	78,882,098	△ 5,089,098	⑧ 0	0	0	

※ 4年度予算は現計予算である。

※ 5年度予算の当年度損益勘定留保資金等は、減価償却費14,772,000千円、固定資産除却費439,000千円、長期前受金戻入△3,764,000千円、引当金計上額及び取崩額等の資金調整額509,000千円を加えたものである。

※ 5年度予算の地方財政法上の資金不足額は、総計0円から特別減収対策企業債残高19,488,000千円を差し引いた額19,488,000千円である。



## 2 業務量

地下鉄

(高速電車事業会計)

区 分		4 年 度 予 算 A	5 年 度 予 算 B	比 較	
				増 減 $\Delta$ B - A = C	増 減 率 (%) C / A
営 業 キ 口 数		km 48.0	km 48.0	km 0.0	0.0
車 両 数		両 368	両 368	両 0	0.0
走 行 キ 口 数		千km 33,635	千km 33,801	千km 166	0.5
輸 送 人 員	年 間	人 197,087,000	人 202,710,000	人 5,623,000	2.9
	一 日 平 均	人 540,000	人 554,000	人 14,000	2.6
乗 車 料		千円 37,382,000	千円 39,377,000	千円 1,995,000	5.3

### 3 主要事業

## 地下鉄

(高速電車事業会計)

(単位：千円)

項 目	5年度 予 算 (A)	4年度(※ <sup>1</sup> ) 予 算 (B)	差 引 (A) - (B)	事 業 の 主 な 内 容
建設改良事業 ( ※ <sup>2</sup> )	12,252,000 (14,692,000)	18,293,306 (15,853,306)	△ 6,041,306 (△ 1,161,306)	<p><b>&lt;老朽化施設の改修等&gt;</b>  <b>駅舎施設設備の改修 5,131百万円 (R4年度当初予算からの繰越：2,032百万円)</b>                      ○耐震改修工事 (南北線シェルター、南車両基地の工事等) . . . . . 1,412百万円                      (R4当初予算からの繰越 . . . . . 2,032百万円)                      ○EV・ES更新工事 . . . . . 788百万円    ○すすきの駅リフレッシュ改修工事 . . . 729百万円                      ○南北線さっぽろ駅改良事業 . . . 428百万円    ○東豊線空調換気給排水設備改良工事 . . 203百万円                      ○照明設備・電灯分電盤更新 . . . 122百万円  <b>電力・通信施設設備の改修 3,339百万円 (R5年1定補正からの繰越：408百万円)</b>                      ○案内表示設備更新工事 . . . . . R5年：0円 (R5年1定補正からの繰越 . . . . . 408百万円)  <b>車両・工場機器設備の改修等 3,408百万円</b>                      ○東西線8000形車両表示器更新 (多言語対応) . . . . . 97百万円</p> <p><b>&lt;その他&gt; 374百万円</b>                      ○旅客用トイレ改良工事 (トイレの洋式化) . . . . . 236百万円                      ○ホーム案内板の更新 (多言語対応) . . . . . 62百万円                      ○東西線大通駅吊下げ電照標識改修工事 (多言語対応) . . . . . 55百万円                      ○駅出入口電照標識更新工事 (多言語対応) . . . . . 21百万円</p>
企業債 ( ※ <sup>2</sup> )	9,476,000 (10,283,000)	13,182,000 (12,375,000)	△ 3,706,000 (△ 2,092,000)	
同 上 財 源 内 訳 一 出 資 会 計 金 ( ※ <sup>2</sup> )	1,295,000 (1,783,000)	2,021,000 (1,533,000)	△ 726,000 (250,000)	
国 補 助 庫 金 ( ※ <sup>2</sup> )	114,944 (717,944)	703,500 (100,500)	△ 588,556 (617,444)	
一 補 助 会 計 金 ( ※ <sup>2</sup> )	55,556 (597,556)	557,000 (15,000)	△ 501,444 (582,556)	
そ の 他	1,310,500	1,829,806	△ 519,306	

(※1) 4年度予算は5年1定補正408百万円を含む(国の補正予算に伴う)

(※2) R4からの繰越額を4年度予算から除き、5年度予算に計上。

# 高速電車事業会計

## 3 主要事業 (イメージ図)

地下鉄

### 【南車両基地改築ほか工事】

#### 【主な改修内容】

○1期工事(既存車庫棟・出入庫棟解体、新工場棟ほか新築):R5-9



○2期工事(既存工場棟・出入庫棟解体、新車庫棟ほか新築):R9-11



○3期工事(既存車庫棟・出入庫棟耐震改修、長寿命化に向けた屋上防水等の保全工事):R12-15



### 【案内表示設備更新工事】

#### 【更新内容】

- LCD(液晶)化による視認性向上及び情報内容の充実
- インバウンド対応を考慮し、5言語表記(日、英、簡体、繁体、韓)
- CUD(カラーユニバーサルデザイン)認証の取得
- 旅客サービス向上のため、コンコースにも新設

【更新スケジュール】※東豊線全駅は平成27年度までにLED化・2言語表記対応済

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
南北線	大通駅	麻生駅～さっぽろ駅(計6駅) すすきの駅～平岸駅(計5駅)	南平岸駅～真駒内駅 (計4駅)	
東西線	大通駅		宮の沢駅～西11丁目駅 (計8駅)	バスセンター前駅～新さっぽろ駅 (計10駅)

	南北線	東西線
ホーム	23:02 真駒内 行 for Makomanai 共通Wi-Fiユーザー等の払い戻し期間が 23:02 真駒内 行 for Makomanai 2つ前の駅を発車しました 共通Wi-Fiユーザー等の払い戻し期間が	23:02 宮の沢 行 for Miyozawa 共通Wi-Fiユーザーカード等の払い戻し期間が 23:02 宮の沢 行 for Miyozawa 共通Wi-Fiユーザーカード等の払い戻し期間が
コンコース	1 23:02 真駒内 行 for Makomanai 2 23:08 麻生 行 for Aomae 1 23:10 真駒内 行 for Makomanai 共通Wi-Fiユーザーカード等の払い戻し期間が	1 23:02 新さっぽろ 行 for Shin Sapporo 2 23:08 宮の沢 行 for Miyozawa 1 23:10 新さっぽろ 行 for Shin Sapporo 2 23:15 宮の沢 行 for Miyozawa 共通Wi-Fiユーザーカード等の払い戻し期間が

【更新前:ホーム】

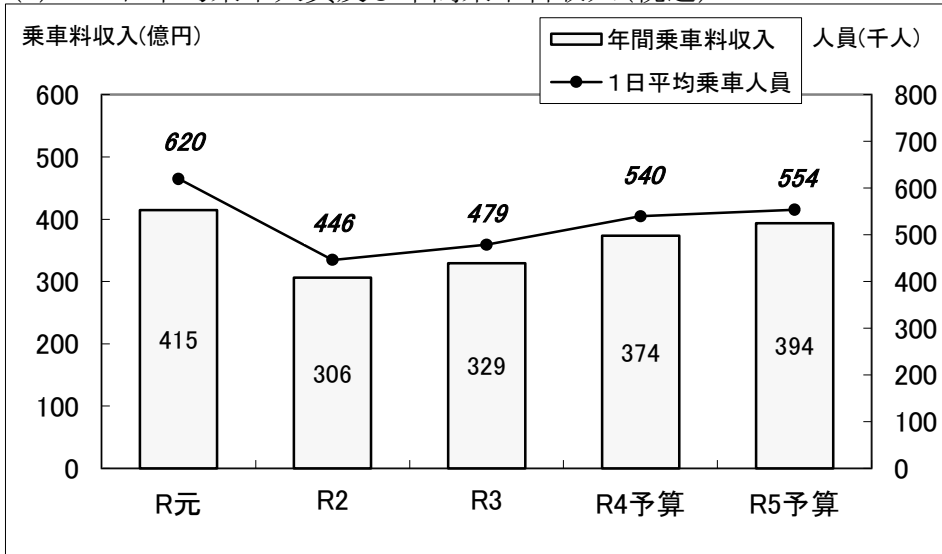


【更新後:ホーム】

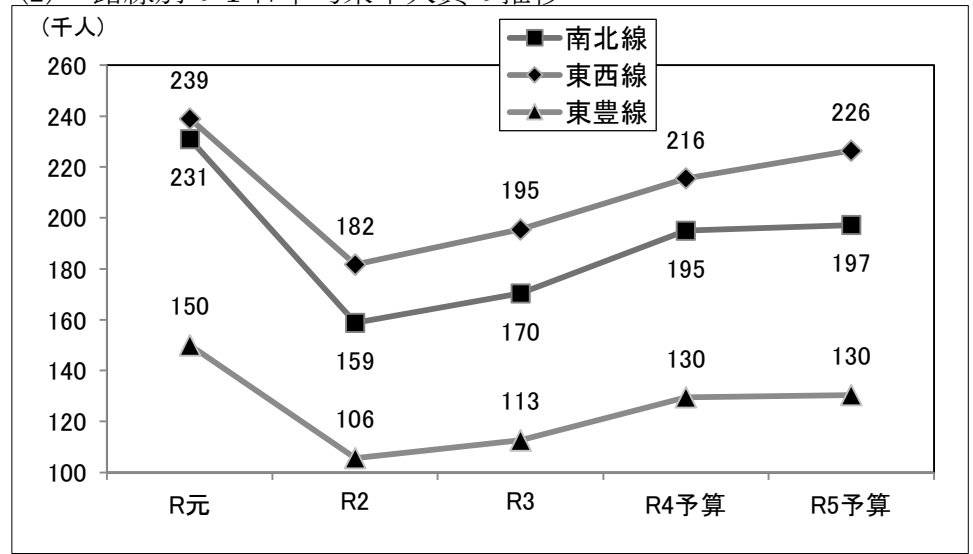


## 4 過去5年間の傾向

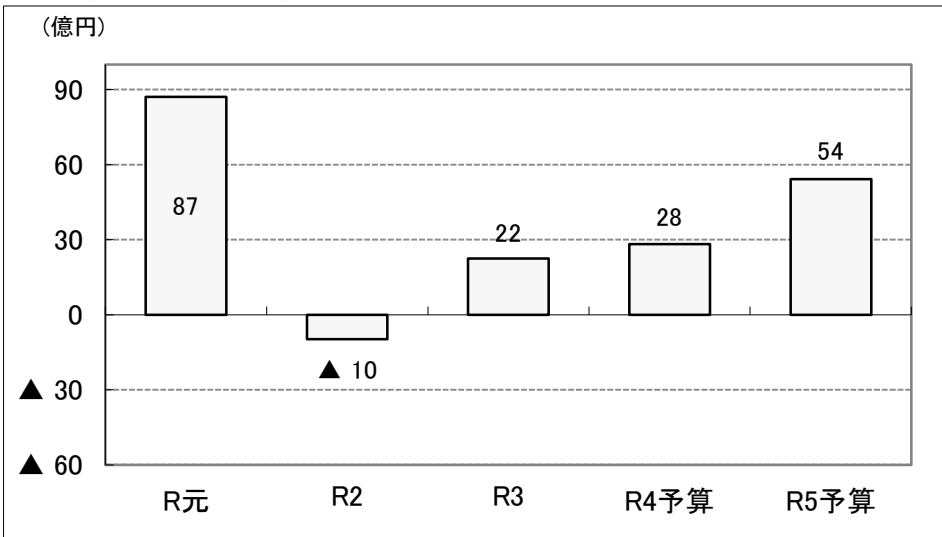
(1) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



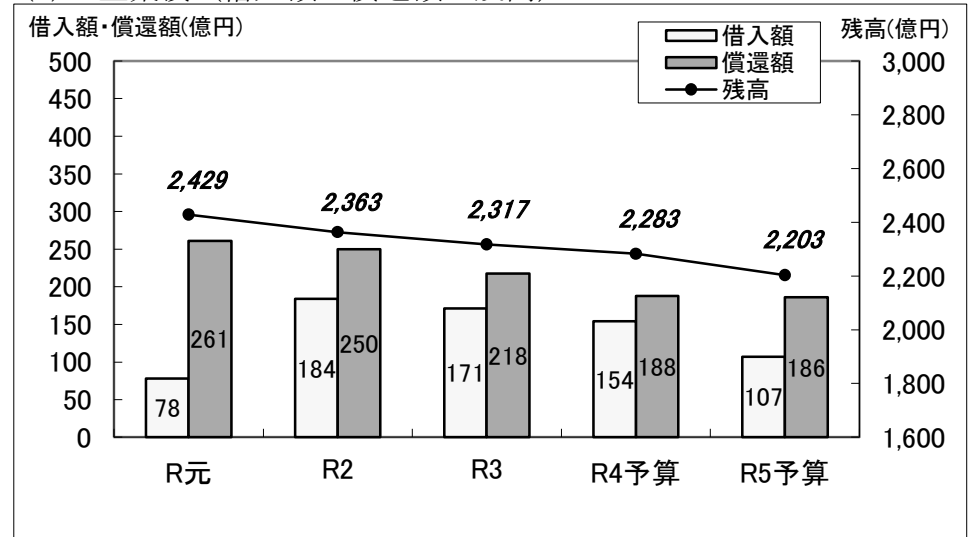
(2) 路線別の1日平均乗車人員の推移



(3) 経常収支(税抜)



(4) 企業債(借入額・償還額・残高)



※ 表中の数字は、各係数ごとの四捨五入で表示している。